

2019年11月10日実施「ナカナカ会 ～1dayまち博編～」イベントレポート

中野区は、2019年2月に中野区シティプロモーション「中野大好きナカノさん」プロジェクトを開始してから、中野好きの人が集まって魅力を語り合う交流会「ナカナカ会」を開催してきました。今回のナカナカ会は「1dayまち博編」。今年度で7回目になる「なかのまちめぐり博覧会(以下まち博)」の1イベントとしてエントリーし、11月10日(日)に行われました。参加者の皆さんには1日限定でちびナカノさんを貸し出し、様々なイベントが開催される中野区を巡りながら撮影をしてもらいました。参加者の皆さんは、ちびナカノさんをどこに連れて行ってくれたのでしょうか？

※なかのまちめぐり博覧会は、商店街や企業、学校、団体などが主体となって、区内のさまざまな地域資源を活用して自主的に企画・運営するイベント等を集約し、中野区全域を会場とする博覧会として一体的に開催するものです。2019年度は、10月19日(土)～11月24日(日)に開催されました。



集合、いざ撮影へ

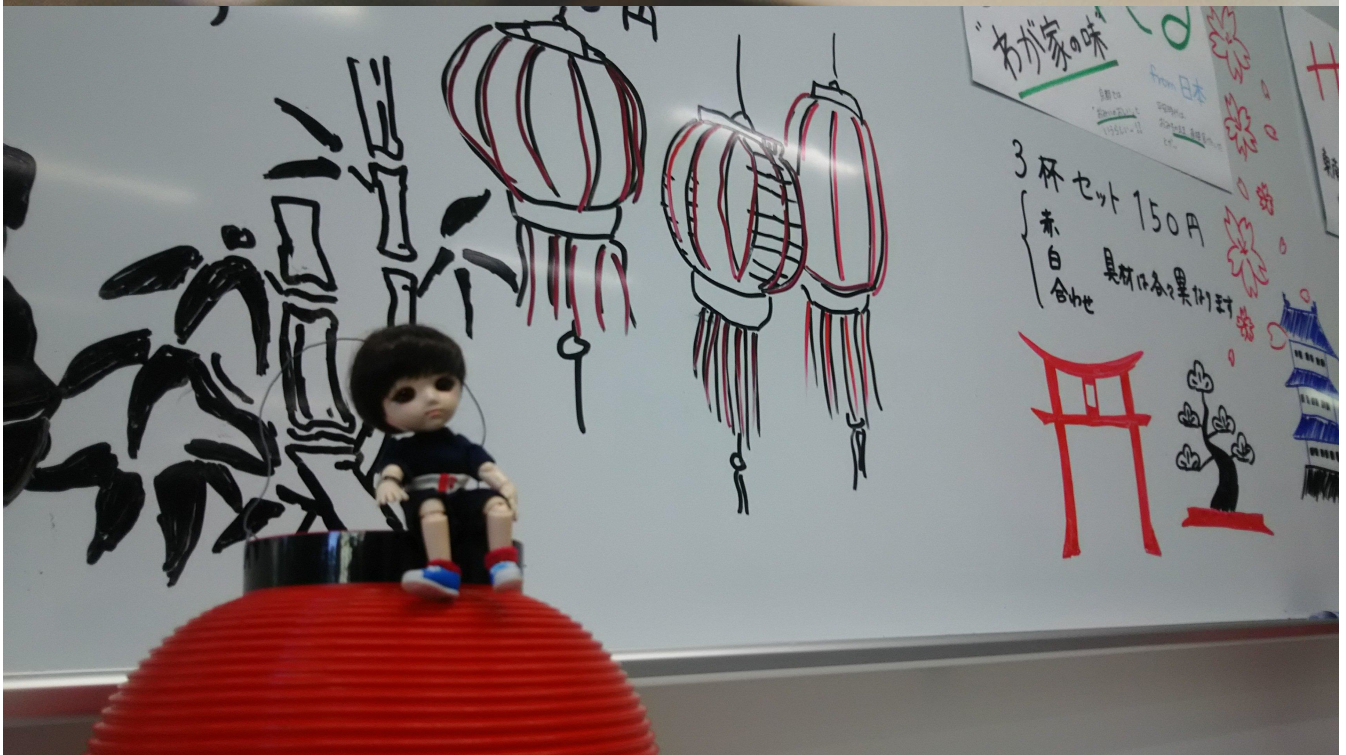
参加いただいた中野を愛する皆さんを前に、まずは「中野大好きナカノさん」プロジェクトのご説明や、まち博のご紹介をしました。その後、撮影タイムに入る前に、限られた時間の中で効率良く中野区内を巡るにはどんなルートがベストか職員に相談する方がいたり、事前にまち博のパンフレットを読み込み、近隣のイベントについて質問する方がいたり、ナカナカ会だけではなく、まち博も楽しもうという参加者の皆さんの意気込みが伝わってきました。中には区内を走るバスの1日乗車券をあらかじめ購入してナカナカ会に参加してくださった方も。最後はみんなで「おー!」と気合を入れて、いざ撮影に出発です!



思い思いの写真とエピソードをシェア!

4時間の撮影タイムのあと、中野区役所に戻ってこられた皆さんでチームにわかれ、お互いに写真を披露しながら、撮影時のエピソードを話し合いました。撮影タイムはランチやおやつの時間も挟んでいたもので、「お昼に〇〇を食べに行ったときの写真で……」「昔よく行っていたカフェに久しぶりに行きました」と美味しそうなお店に連れて行ってもらったちびナカノさんも多かったようです。

沼袋のおにぎり屋さんに行った参加者の方は「撮影していたら10人くらい通りすがりの人が集まってきて、ちびナカノさんの人気を感じました」と教えてくださいました。また、まち博のイベントに遊びに行った方も。中野区にキャンパスを構える大学の文化祭に足を運んだ方は、すれ違った来場者の方に「ちびナカノさんだ!」と声をかけられたり、イベントに参加したりと十人十色のエピソードが飛び出し、にぎやかな時間でした。



写真のエピソードについて盛り上がったあと、「公式SNSに自分の写真を投稿するとしたらどんな投稿文をつけるか」という切り口でディスカッションをしてもらいました。自分が撮影したちびナカノさんは、こういう構図が面白いと思って撮影したけれど、見方を変えるところも見えるかも!この写真は、こんなストーリーの一場面みたいだね、と話が広がっていました。想像力をフルに活用して、写真に写っている以上の物語を想像するうちに、白熱した議論になるグループも。活気があふれる時間となりました。



さいごに

様々なお話に花が咲き、あっという間に閉会の時間に。最後にみなさんに感想を聞くと、「あんまり中野を知らなかったが、今日でより知ることができた」「初めての場所に行き、楽しかった」と、普段行かない場所にも足を伸ばすきっかけになったという声や、「ナカノさんは自分が中野に思っていた通りのコンセプトで、とても驚いた」「ナカナカ会に参加するまでは、『ちびナカノさんのデザイン、もっとこうだったらいいのにな』と思っていたが、今日コンセプトを理解し、納得した。ちびナカノさんの写真は撮影者それぞれのストーリーがあってとても面白いと思った」など、ナカナカ会に参加して、シティプロモーションやナカノさんへの理解が深まった、という声を頂きました。

ところで、今回のナカナカ会はこれで終わりではありませんでした。1日限定でちびナカノさんをお渡しする「1dayナカナカ会」でしたが、会話の中で「もっと色んなところに行きたかった」「まだ撮影したい」という参加者の皆さんのお声を受けて、サプライズとして「ちびナカノさんの2週間の貸し出し」を発表!この日一番の歓声を聞くことが出来ました。そんなみなさんが撮影した写真を、一部ご紹介いたします。















